



2013年1月15日

2013年暦年 生産・販売計画について

富士重工業の2013年暦年の生産・販売（小売）計画 は下記の通りです。

1. 生産計画

(単位：台)

	2013年暦年計画	2012年暦年実績	前年比
国内生産	569,000	568,537	100.1%
登録車	569,000	550,176	103.4%
海外生産 *1	172,000	184,783	93.1%
合計	741,000	753,320	98.4%

*1 マレーシア CKD 生産を除く。

<国内生産>

世界各国で導入が本格化する新型フォレスターが大きく伸び、インプレッサおよびスバル XV が堅調に推移する一方、前年の増産により在庫の充足が進みつつあること、および昨年2月に軽自動車の生産を終了したことから、ほぼ前年と同水準となる569千台の生産を計画しています。

<海外生産>

北米におけるレガシィ、アウトバックの販売は好調が続いていますが、前年の増産により在庫の充足が進みつつあることから、前年比約7%減となる172千台の生産を計画しています。

<合計>

2年ぶりに前年を下回り、741千台の生産を計画しています。

2. 販売（小売）計画

(単位：台)

	2013年暦年計画	2012年暦年実績	前年比
国内販売 *2	162,000	177,715	91.2%
登録車	106,000	108,070	98.1%
海外販売	588,000	528,897	111.2%
米国	365,000	336,441	108.5%
中国	58,000	43,459	133.5%
合計	750,000	706,612	106.1%

*2 OEM車の販売台数を含む。

<国内販売>

先進運転支援システム「アイサイト」による安全性訴求に加え、昨年11月にモデルチェンジした新型フォレスターと、スバル XV、アウトバックを合わせたSUVシリーズを訴求することで、162千台の販売を計画しています。

<海外販売>

新型フォレスターとインプレッサおよびスバル XV を中心に、米国、中国など主要市場全てで販売を伸ばし、2年連続で前年を上回り、暦年過去最高となる588千台の販売を計画しています。

<合計>

2年連続で前年を上回り、暦年過去最高となる750千台の販売を計画しています。